

平成 22 年度各賞受賞

紫綬褒章

鍋島 陽一 (昭 47 年新潟大卒)  
京都大学名誉教授

秋の叙勲

瑞宝中綬章

松島 龍太郎 (昭 25 年専卒)  
広島大学名誉教授

太田 富雄 (昭 31 年卒)  
大阪医科大学名誉教授

以 上

# 人材育成を推進

就任あいさつ



医学研究科長・医学部長  
湊 長博

このたび医学研究科長・医学部長を命ぜられ、平成 22 年 10 月 1 日よりその任にあたっています湊長博でございます。就任にあたり、芝蘭会員の皆さま方にご挨拶をさせていただきます。

私は本学医学部昭和 50 年卒で、当時の胸部疾患研究所内科で 2 年間の初期研修後、ただちにニューヨークのアインシュタイン医科大学免疫学教室 (B.R.Bloom 教授) へ留学しました。Bloom 教授にはリサーチアソシエイト (いわゆるポストドク) として受け入れていただき、大学院を経ず学位もない身分で無茶といたうべきものですが、(もう時効だと思えます)、全く自由に研究をさせていただきました。3 年間の研究生活の後、自治医科大学膠原病内科 (高久文磨教授) にお招きいただき、12 年間臨床現場で診療の

も臨床と基礎の両方の世界を経験してきました。この機会に本医学部の現況と問題点、今後のあり方について、私の考えるところを簡単に述べさせていただきます。

本学医学部の現在と将来を考える上で最も重要な軸は、百有余年の歴史に培われてきた京大医学部の「理念」を支えていく「人材」と「組織」であると思います。百周年の折に当時の本庶佑研究科長から記念誌編集を命じられました。そのタイトル「近衛町無番地」は生協の割り箸の袋から思いついたのですが、副題を考えているときに本庶先生が折に触れ言っておられた三つの C が浮かびました。

「Curiosity」[Challenge] 「Continuity」です。真に独創的な研究と医療に果敢に挑戦し、その志を持続する、感覚的にいえば本医学部の「理念」とはこのようなものではないか



第170号

発行所  
社団法人 芝蘭会  
京都大学医学部同窓会  
〒606-8315  
京都市左京区吉田近衛町  
TEL 075-751-2713  
FAX 075-752-4015  
E-mail: info@shirankai.or.jp  
http://www.shirankai.or.jp

主 な 内 容

- ② 京大原爆災害調査班遭難者慰霊の集い
- ③ 代議員当選者公示
- ④ 校友会・KMS・FUND により支部だより 京都・静岡 愛媛・滋賀・島根・近畿北
- ⑥ 京都大学東京オフィス 人事異動・会員計報

# 組織の運営基盤整備へ

と私には思われます。

この数年間、医学研究科は大学院教育の充実に特に力を入れ、成宮周研究科長の時代から文科省「魅力ある大学院教育イニシアチブ」の支援を受け、全国で初めて基礎、臨床、講座分野の枠を超えた新しい大学院教育コースを開始しました。これは現在グローバル COE 拠点として引き継がれ、全国的にも高い評価を得ていますが、さらに改善を加えつつ恒常的システムとして確立していかなければならないと考えます。

他方、本研究科の近い将来を担うべき若手の教員・医師については、業務負担の増大にも拘わらず研究・教育・診療などの本務にかかわるサポート体制はまだ決して満足すべきものとは思えません。待遇改善、短期留学インターンシップ制、ティータラック制、関連病院を含めた若手医師のキャリアパスの確立など、目に見える支援が今後の重要な課題です。学内や関連病院の中から次世代の指導者が続々と輩出されてくるという状況にならないと、本研究科の将来も必ずしも万全とはいかないでしょう。

次に重要な課題は、組織としての研究科の運営の問題です。法人化以降国立大学の運営は「国策」プロジェクトによる競争的資金への依存度を大きく

## 地域医療と連携推進

3月13日に京大病院臨床懇話会を開催

平成 22 年度京大病院臨床懇話会を、平成 23 年 3 月 13 日 (日) 15 時から芝蘭会館 (稲盛ホール) で開催いたします。

本懇話会は、地域医療との連携を推進するため、地域で活躍されている医師の先生方と京大病院診療科長らとの意見交換および京大病院からの情報提供の場として開催しているものであり、今回で 14 回目となります。

当日は、新任教授の挨拶・講演および京大病院報告を行うほか、「急性期における京大病院と在宅医療をつなぐ」というテーマにより講演が行われます。

この上は前述のような観点から微力ながら研究科長・医学部長としての責務を最大限果たしていく所存です。

芝蘭会会員の皆さまに以上のご助言とご支援を心からお願ひ申し上げます。

参加がありました。

研究会では、中村孝志病院長の開会挨拶の後、中川隆之先生 (京大病院耳鼻咽喉科講師) より「多能性幹細胞を用いた内耳再生医療開発」について、長船健二先生 (京都大学 iPS 細胞研究所准教授) より「iPS 細胞技術を用いた腎疾患に対する治療法開発に向けた研究」について、中西淳先生 (武田薬品工業株式会社医薬研究本部開拓研究所) より「iPS 細胞の実用化に向けて」疾患研究と創薬」について、前川平先生 (京大病院輸血細胞治療部教授・分子細胞治療センター長) より「わが国における細胞治療・再生医療の制度的枠組みについて」について一般講演が行われました。

## 中内氏 (東大) が特別講演

第3回京大病院 iPS 細胞・再生医学研究会

学内外から百人超参加

1 月 21 日 (金) に、第 3 回京大病院 iPS 細胞・再生医学研究会を芝蘭会館にて開催しました。同研究会は、当院における iPS 細胞、ES 細胞および体性幹細胞等を用いた再生医学研究の向上並びに成果の普及を図り、内外から 100 名余りの



引き続き、中内啓光先生 (東京大学医科学研究所幹細胞治療研究センター長) より「細胞治療から臓器再生治療へ iPS 細胞から臓器を作る」について特別講演が行われました。

開会挨拶を行う中村病院長 (上) 中内先生による特別講演 (下)



## 京大原爆災害調査班遭難者



原爆災害調査班遭難者の慰霊碑

## 広島で慰霊の集い

広島市およびその周辺において原爆災害調査や被爆者の治療を行っていた京都大学原爆災害総合研究調査班の教職員・学生の11名の方が昭和20年9月17日の枕崎台風による山津浪で殉職されてから、昨年で65年を迎え、平成22年9月11日（土）、広島県佐伯郡大野町宮浜

で、第65回京都大学原爆災害総合研究調査班遭難者の慰霊の集いが開催された。式典は、周辺が公園として整備された記念碑の前で午前11時から行われ、開会の辞、黙祷の後、松本紘京都大学総長、光山正雄医学研究科長、吉川研一理学研究科長、木

村徹芝蘭会広島支部長、眞野勝弘甘日市市長から追悼の言葉が、また、眞下芳夫氏から遺族を代表しての言葉が述べられた。その後、11名の名前が刻まれた記念碑に代表献花、遺族献花、参列者献花が行われ、約80名が参列した慰霊の集いは12時に終えた。

午後12時20分より宮浜グランドホテルに場所を移し、昼食を兼ねた懇親会が行われ、光山医学研究科長の挨拶、伴敏彦京大名誉教授の献杯の後、菊池晴彦京大名誉教授、梶川博氏（芝蘭会広島支部）、および角田俊司甘日市市議会議長からスピーチがなされた。

この慰霊の集いは平成7年の第50回を期に5年に1回開催され、平成23年は9月17日（土）に自由参拝形式にて、開催される予定。



松本紘京都大学総長



眞下芳夫遺族代表

## 全候補者110人を信任

## 一般社団法人芝蘭会代議員

平成20年12月に施行された公益法人制度への移行に伴い実施した一般社団法人芝蘭会の代議員選挙は、平成22年10月1日に公示され、平成22年10月22日から平成22年11月4日まで郵送等による投票が行われました。

平成22年11月5日に開票の結果、110名の候補者全員が圧倒的多数で信任されました。開票結果につきましては芝蘭会ホームページで公示するとともに本会報においても公示いたします。

この代議員選挙は社団法人芝蘭会が一般社団法人として移行認可の申請のために必要で、代議員は一般社団法人の社員として総会に出席することになります。（従来通り委任状による出席も可）

なお、任期は選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時まで（一般社団法人芝蘭会定款第6条第9項）となっており、平成24年6月予定の定期総会終了時までとなります。

総長から本慰霊の集いに対し、永年ご尽力いただいている甘日市市長、甘日市市議会議長、甘日市市大野支所長へ感謝状が

進呈された。

| 氏 名    | 所属支部 |
|--------|------|
| 平田 温   | 秋田   |
| 廣瀬 邦彦  | 滋賀   |
| 福井 清   | 徳島   |
| 福井 有公  | 大阪   |
| 福田 和彦  | 京都   |
| 藤原 久義  | 阪神   |
| 二本 隆   | 東京   |
| 古家 敬三  | 京都   |
| 平家 俊男  | 京都   |
| 邊見 公雄  | 京都   |
| 本田 孔士  | 大阪   |
| 榊 正幸   | 茨城   |
| 松岡 雅雄  | 京都   |
| 松村 忠史  | 奈良   |
| 松山 榮一  | 西播   |
| 真鍋 克次郎 | 京都   |
| 馬淵 茂樹  | 東京   |
| 三嶋 理晃  | 京都   |
| 光山 正雄  | 京都   |
| 湊 長博   | 京都   |
| 三森 経世  | 京都   |
| 宮地 良樹  | 京都   |
| 宮本 一   | 神戸   |
| 村井 俊哉  | 京都   |
| 森 惟明   | 高知   |
| 泰江 弘文  | 熊本   |
| 矢野 謙二  | 鹿児島  |
| 山岡 義生  | 京都   |
| 山本 剛史  | 岐阜   |
| 余語 郁夫  | 愛知   |
| 横出 正之  | 京都   |
| 吉田 修   | 京都   |
| 吉田 耕造  | 神戸   |
| 吉村 長久  | 京都   |
| 和田 純子  | 大阪   |
| 綿谷 茂樹  | 阪神   |

| 氏 名    | 所属支部  |
|--------|-------|
| 杉山 知行  | 山口    |
| 砂川 晶生  | 奈良    |
| 瀬戸 嗣郎  | 大阪    |
| 瀬戸山 元一 | 京都    |
| 清野 裕   | 大阪    |
| 相馬 俊臣  | 滋賀    |
| 高折 晃史  | 京都    |
| 高三 秀成  | 岡山    |
| 高橋 晴雄  | 長崎    |
| 高橋 良輔  | 京都    |
| 滝 和郎   | 三重    |
| 武田 隆男  | 京都    |
| 武藤 誠   | 京都    |
| 竹本 勇   | 山形    |
| 辰巳 賢一  | 東京    |
| 田中 守   | 群馬    |
| 田港 朝彦  | 香川    |
| 筒井 孟   | 神戸    |
| 藤堂 義郎  | 大阪    |
| 永井 朝子  | 阪神    |
| 永井 博之  | 阪神    |
| 中尾 一和  | 京都    |
| 中川 正久  | 島根    |
| 中島 康夫  | 大阪    |
| 中野 俊彦  | 大分    |
| 中村 孝志  | 京都    |
| 中安 顕   | 京都    |
| 鍋谷 登   | 大阪    |
| 成宮 周   | 京都    |
| 西 祥太郎  | 京都    |
| 野口 雅滋  | 京都    |
| 野口 正人  | 福井    |
| 延吉 正清  | 福岡・佐賀 |
| 端 和夫   | 北海道   |
| 林 雅造   | 神戸    |
| 日合 弘   | 滋賀    |
| 日野原 重明 | 東京    |

| 氏 名    | 所属支部 |
|--------|------|
| 網谷 良一  | 大阪   |
| 新居 正甫  | 大阪   |
| 栗根 弘治  | 大阪   |
| 伊藤 壽一  | 京都   |
| 稲垣 暢也  | 京都   |
| 大城 清   | 沖縄   |
| 大高 道也  | 東京   |
| 大田 研治  | 西播   |
| 大歳 雅洋  | 西播   |
| 小川 修   | 京都   |
| 隠岐 尚吾  | 大阪   |
| 荻野 文章  | 神戸   |
| 小野寺 久  | 東京   |
| 折田 雄一  | 滋賀   |
| 加藤 静允  | 京都   |
| 門田 和紀  | 愛媛   |
| 菊池 晴彦  | 神戸   |
| 木之下 正彦 | 滋賀   |
| 木原 正博  | 京都   |
| 木村 徹   | 広島   |
| 草間 昌三  | 長野   |
| 久藤 豊治  | 石川   |
| 小泉 欣也  | 京都   |
| 河野 幸裕  | 大阪   |
| 小柴 孝夫  | 神戸   |
| 小西 郁生  | 京都   |
| 小西 淳二  | 福井   |
| 小西 裕   | 和歌山  |
| 坂井 義治  | 京都   |
| 坂口 志文  | 京都   |
| 坂口 佳司  | 京都   |
| 佐古 伊康  | 静岡   |
| 篠原 隆司  | 京都   |
| 柴田 史郎  | 新潟   |
| 薦原 康行  | 奈良   |
| 島本 光臣  | 静岡   |
| 清水 達夫  | 大阪   |

芝蘭会69回・2010（平成22）年版  
芝蘭会会員名簿 刊行！

名簿作成にご協力いただき、ありがとうございました。

このたび、平成22年12月に芝蘭会会員名簿を刊行いたしました。

名簿作成にあたり、会員の皆さまから快く異動情報等をお寄せいただき感謝申し上げます。

会員名簿をご希望の方は、芝蘭会事務局（075-751-2713）までお問い合わせください。

会員名簿：A4判、890頁  
会員頒布代：一部 5,250円（消費税を含む）  
（但し、会費納入者に限る。その他は10,500円）  
送料：700円

## 社団法人芝蘭会

## 【訂正】

- p694 山口支部  
事務局【誤】 755-0047 宇部市島1-4-12 中澤晶子方  
TEL 0836-34-3804  
支部長【誤】 中澤 淳  
↓  
事務局【正】 747-0044 防府市佐波1-3-10 TEL 0835-23-7104  
支部長【正】 杉山 知行  
\*幹事ご担当の先生はおられません
- p206 昭34 糸川 嘉則  
【追加】勤務先：京都大学名誉教授、福井県立大学名誉教授、  
仁愛大学人間生活学部教授・学部長  
TEL 0778-27-2010, Eメール itokawa@jindai.ac.jp  
【追加】現住所：603-8125 京都市北区小山板倉町3-3 TEL 075-491-8858
- p197 昭30 花岡 道治  
現住所【誤】 650-0003 神戸市中央区山本町2-1-16  
↓  
現住所【正】 659-0086 芦屋市三条南町1-3-15 TEL 0797-22-6758

芝蘭会臨時総会  
開催について

平成22年度臨時総会を左記のとおり開催いたします。  
開催には会員の10分の1以上の出席（委任状を含む）を要しますので、お手数ながら、ご出席願えない場合は、委任状に各議案に対する賛否をご指示の上、記名捺印願ひ、総会日の5日前までにご返送くださいますようお願いいたします。

日時 平成23年3月26日（土）午後3時  
場所 京都市左京区吉田牛ノ宮町11-1 芝蘭会館別館  
議案 会長、副会長、評議員の選任について

記

## 訂正とお詫び

## 芝蘭会会員名簿

平成22年12月に刊行いたしました芝蘭会会員名簿（平成22年度版69

.....

回）に誤りがありました。会員ならびに関係者の皆さまには、大変ご迷惑をおかけいたしました。謹んでお詫びするとともに、左記のとおり訂正いたします。



# 学生会館竣工に感謝

医学部長・医学研究科長 湊 長博



学生会館竣工記念式  
テープカット

## 京都大学医学部 校友会・教育研究支援基金 (KMS・FUND) だより

事務局

〒606-8501

京都市左京区吉田近衛町  
京都大学医学部学生会館内

Tel.075-761-2467

Fax.075-752-1528

Mail-Address:

kyoto-kms-fund@office.  
med.kyoto-u.ac.jp

## さらなる力添えを

念願の学生会館が一応の竣工を見、去る11月14日に竣工式を迎えることができましたことをまずご報告申し上げます。当日は、土井会長をはじめとする校友会の方々、武田芝蘭会副会長をはじめとする芝蘭会の方々、京大本部赤松理事、医学部教員ならびに学生諸君にお集まりいただき、ささやかながら竣工記念式を執り行わせていただきました。父兄の方々、とりわけすばらしい会館時計

塔のご寄贈をいただいた卒業生の故山智子先生(平成18年度卒業)のお父さまからの感動的なお祝いの言葉に、学生教職員一同感謝の念を新たにしました。

平成19年3月に成宮元研究科長の並々ならぬ熱意とご努力により京都大学医学部教育研究支援基金(KMS・FUND)が設立され、さらに同基金運営委員会初代委員長の中尾教授のご尽力により医学部学生の父兄の方々

を対象に京都大学医学部校友会が組織され、活発な活動を行われてきたこととはご案内のとおりですが、同基金の主眼のひとつがこの新しい学生会館の建設でありました。以来3年余りの短期日の間にこの大きな目標がひとまず達成されましたのも、ひとえに校友会、芝蘭会並びに教職員の皆さまの積極的なご支援とご寄付の賜であり、心から感謝申し上げます。

## 校友会の第4回総会・講演会

日時 5月3日(火)  
会場 芝蘭会館 本館  
総会 13:00 ~ 13:30

講演会・特別講演会の後、医学部学生会館の竣工を記念して施設内見学会を行います。ぜひご参加ください。

問合せ先

〒606-8501

京都市左京区吉田近衛町

京都大学医学部学生会館内

京都大学医学部校友会事務局

☎075-761-2467

も事実で、大学本部からの借入金も残しておりました。つきましては、芝蘭会の皆さまには何とか学生会館の現実的な完成と充実、さらには校友会活動の発展のために、今後ともさらに一層のお力添えとご寄付をいただきますよう重ねて心からお願ひ申し上げる次第でございます。

永年の念願でありました学生会館が見事に竣工いたしましたこと、誠にめでたくございます。心よりお祝い申し上げます。明るく気持の良い建物の発展のために、今後ともさらに一層のお力添えが期待されるものです。

学生会館の建設は、医学部の「教育研究支援基金」設立当初よりの構想であったようですが、建設資金調達の間からして実現はもう少し先のこととお聞きしておりました。ところが、このプロジェクトの推進にあたられた先生方の大変な熱意と努力、また、関係

の充実に対する先生方の熱意の大きさを感ぜずにはいられません。やはり、これが100年を超える歴史を持つ京都大学医学部の伝統の力と考えております。

が、一般的な意味の学習での活用にとどまらず、大学の先生方との交流、学生同士の心の交流を通して、人間力の育成という大きな力になることを心より願っています。

## 医学部の伝統の力 実感



校友会会長  
土井 越

中心とする絶大な基金へのご協力はめざましいもので、医学部の教育環境

基金に協力する機会をいただき、この学生会館の建設に少しはお役に立つことができたことに感謝と感激をいたしております。

これから学生会館の本格的な利用が始まります。きなかつたものか、残念でなりません。

2年前の5月、校友会の総会で京都大学医学部を訪れた時、二男が入っている医学部スキー部のある建物を見ました。

あつては、長女が東北大学3年の3月、同級生の女子が自殺しました。彼女は蔵王にスキーにきたこともありました。

新しい学生会館は、京都大学医学部の学生のコミュニティとして大いに活用されることを希望します。そして、それが将来の研究と診療に必ず役に立つと信じています。

## 学生のコミュニティに



校友会副会長  
菅野 邦明

部、長男が在学していた東京大学医学部スキー部のある建物に比べ、老朽化していました。

11月14日、新しい医学部学生会館を見せていただきました。うれしくなりました。多目的室、学習室、談話室、それにジムもあり、学生は楽しい、充実

た部室のことを思い出します。その仲間とは、現在も年一回つどい、語り

また、長男の東京大学の同級生の女子が、研修一年後に自殺しました。この二つの話を聞いて、非常に悲しく、とても心を痛めました。自殺する前に、同級生や、同じクラブの友と話すことがで

## 心より御礼

医学部4回生

前田 紘奈

このたび、ずっと楽しみにしてまいりました新しい学生会館が竣工を迎えましたことお慶び申し上げます。

私は、医学部音楽部に所属しています。実家から離れた入学当初は、ピアノを続けることは無理だと思っていましたが、このような立派な施設をいただけることに、学生を代表して心より感謝・御礼申し上げます。

また、当会館の中には、24時間利用できる学習室

もありません。時計台の隣の付属図書館に、一週間のうち部分的に24時間利用できる部屋があり、以前試験勉強のため夜ふけに訪れた時、解剖のアトラスを開いて後輩が勉強しているのを見ました。医学部生の利用率は高かったと聞きます。今回、医学部構内に、完全に24時間利用できる学習室をいただける、ますます勉学に励まなければと、喜びとプレッシャーを同時に感じる次第です。

## 学生会館オープンまでの道のり

元医学部長・医学研究科長 成宮 周

いた。とにかく、これを見て直そうと考えた。問題は資金である。当時の尾池総長に医学部視察の際に陳情したが、とても本部から新築費用は出そうにも無い。頼るのは芝蘭会の皆様しかないと考え、平成17年8月の静岡支部を皮切りに医学部長として出席する支部会長の度現状と厚生施設の充実に現状と厚生施設の実に対する支援をお願いした。また、支援の受け皿として、米国の大学を支える個人からの寄付と基金の在り方を参考に、京都大学医学教育研究支援基金(KMS・FUND)を平成19年3月に立ち上げ、中尾教授に委員長をお願いした。中尾教授は、医学部学生の父母を対象に京都大学医学部校友会を立ち上げ入学・卒業祝賀会、総

た。とにか、これを建て直そうと考えた。問題は資金である。当時の尾池総長に医学部視察の際に陳情したが、とても本部から新築費用は出そうにも無い。頼るのは芝蘭会の皆様しかないと考え、平成17年8月の静岡支部を皮切りに医学部長として出席する支部会長の度現状と厚生施設の充実に現状と厚生施設の実に対する支援をお願いした。また、支援の受け皿として、米国の大学を支える個人からの寄付と基金の在り方を参考に、京都大学医学教育研究支援基金(KMS・FUND)を平成19年3月に立ち上げ、中尾教授に委員長をお願いした。中尾教授は、医学部学生の父母を対象に京都大学医学部校友会を立ち上げ入学・卒業祝賀会、総



# 講演「大腸がんの転移」

## 若年会員も総会参加を

【京都】 平成22年7月4日

(目) 京都の芝蘭会館の2F稲盛ホールにて芝蘭会京都支部総会が行われました。

総会では支部長挨拶のあと、庶務報告、運営報告、会計報告、監査報告、近況報告と行われました。その後、森洋一先生による日医会長選挙報告が行われ、その後、安達秀樹先生による中医学協会の報告が行われました。ここでは自民党から民主党に代わって医学会はどうすべきであるかや、医療費についての具体的な話もされていました。

その後、学術講演会が行われました。講演者は、京都大学医学研究科副研究科長、遺伝子薬理学教

授の武藤誠先生で、演題は「大腸がんの転移とその機構と治療」でした。がんの転移や死亡率など、医学を学び始める僕にもわかりやすい内容の講演でした。

その後、山内ホールへと場所を移し、懇親会が行われました。まず、集合写真を撮りました。さまざまな先生

方が僕たちに料理を勧めてくださいたり、気さくに話しかけてくださったりしていただきました。特に、病院の人手不足や低給与の現状など、将来医学に関わる僕たちにとって興味深い話をしていたので、とても楽しい取材でした。

ここでこの会報を読んでいる方に考えてほしい話を聞きましたので紹介したいと思います。

まず、最近芝蘭会総会に若い人が来られないうという話を聞きました。

原因すら分からない場合もあり、そうした場合には、病気の原因解決のための努力が必要なのだという話をされておられました。分からないことをやり過ぎずのではなく疑問に感じ、光を当てて扉を開けてゆけば自然と道は開けてくると思います。

その後、場所を移して懇親会が行われ、普段は喋れないような方々と話す機会をいただきました。現在の医療体制の問題点や医師としての心得について熱心に説いてくれる方もおられ、とにかく頭が下がった思いでした。僕にとつては非常に良い経験となり、今後の学生生活に活かされるだろうと思います。

そんな和気あいあいとした雰囲気の中、電車の時間の都合もあり惜しまれながらのお開きとなりました。(文責：1回生 真辺諄)

# 「発熱」の奥深さ学ぶ



静岡支部

【静岡】 平成22年8月28日

(土)、大井神社宮美殿にて芝蘭会静岡支部総会・懇親会が行われました。支部長である県立こども病院名誉院長の横田先生による開会の辞から会が

始まり、その後、物故会員の先生への黙祷を捧げ、平成21年度会計報告、平成22年度総会に関する連絡、幹事変更についての連絡といった具合に会

は進みました。また今回の総会では、支部長が横

田先生から島本先生に引き継がれることも発表されました。

次に、京都大学医学部発達小児科学教室教授である平家先生による「小児発熱性疾患研究の最新展開」という題目の講演が行われました。

本題に入る前に、現在の京都大学医学部の現状(運営体制やMCRコースについてなど)の話があった後、小児科は病気を治すだけでなく、子供の発達を大切にしながら(小児科学校を作ったり、クリスマス会を開いたり)診療していくことが大事なのだという話もありました。

講演の中心的話題は、自己炎症性疾患についてでした。この疾患は1999年に正式となった非常に新しいもので、周期性発熱や腹痛が主な症状とする疾患です。はつきりした診断が付かず抗生剤や解熱剤などを使うといったんはおさまるため、普通の風邪や自己

今回の講演で、現在の医療には未知の部分が多く、それは一見身近に思われる「発熱」に関しても同様だということを改めて感じたように思います。発熱という基本症状にしても奥が深く、原因が感染症であることもあれば、自己免疫疾患であることもあれば、内分泌疾患、脱水であるかもしれない。時には発熱

た。せつかくの交流の機会でもありますし、せつかくの休日をつぶすことになりませんが、ぜひ来てくださいますことです。もうひとつ、今、京都大学医学部の学生は芝蘭会に属しています。確かに入学のときに会費も6年分払っているはずですが、だからせつかくなので芝蘭会のイベントに参加しましょうとのことでした。

(文責：1回生 真辺諄)

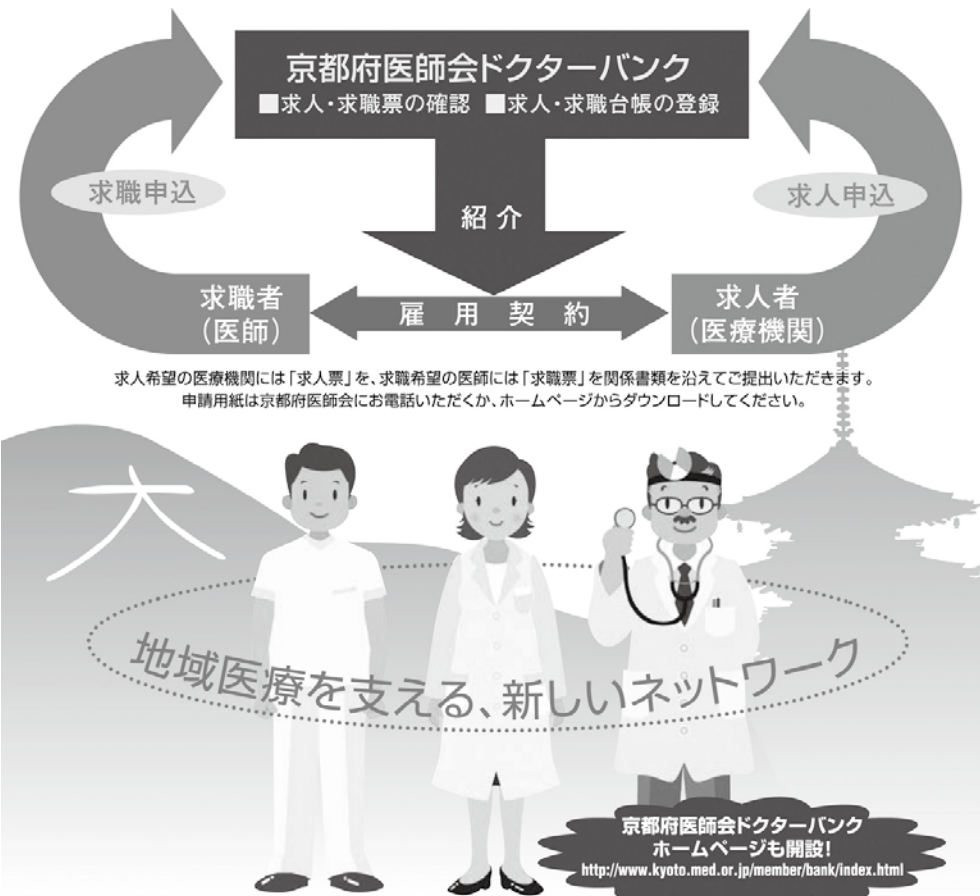
支部だより

京都府医師会医師無料職業紹介所

## 京都府医師会ドクターバンク

京都の医療を守るために…

京都府医師会では、厚生労働省の認可を受け、2008年6月から「京都府医師会医師無料職業紹介所」(京都府医師会ドクターバンク)を稼働させました。京都府医師会ドクターバンクは社団法人京都府医師会が独自に行う事業で、営利を目的とせず、適切な医療供給体制を担うための「医師無料職業紹介事業」です。



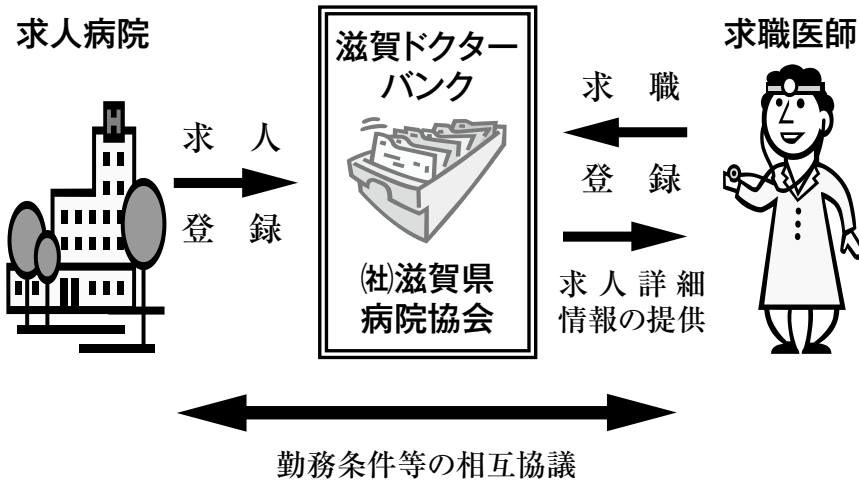
京都府医師会 医師無料職業紹介所

〒604-8585 京都市中京区西ノ京桐尾町3-14 京都府医師会館内

TEL:075-354-6104 FAX:075-354-6074 E-Mail:dr-bank@kyoto.med.or.jp

## 滋賀ドクターBANK

滋賀ドクターBANKは、滋賀県内の病院勤務をご希望されるドクターの希望病院探しをお手伝いいたします!



詳細は **滋賀ドクターBANK** で検索

まずは、下記までお電話・ファックスを!

**社団法人 滋賀県病院協会**

〒520-0044 滋賀県大津市京町四丁目3-28 (滋賀県厚生会館内)

TEL: 077-525-7525 FAX: 077-525-5859



# 「政権交代と医療」語る



愛媛支部

## 【愛媛】

平成22年9月25日

(土)、松山市道後大和屋本店にて、芝蘭会愛媛支部総会・懇談会が開催されました。総会は瀬名波良永先生司会のもとで、支部長である門田和紀先生の挨拶から始まり、京都大学附属病院の現況報告、新しい施設の紹介と順次進んでいきました。学術講演会では、全国自治体病院協議会会長である邊見公雄先生が招かれ、「政権交代と日本の医療」という演題で講演をされました。邊見先生は中央社会保険医療協議会委員、日本病院団体協議会議長、赤穂市民病院名誉院長、全国公私病院連盟副会長ほか多数の役職を兼任されておられます。講演は突然手話による自己紹介が始まり大変印象深いものでした。内容を要約しますと、自公政権が「骨太の方針2006」で打ち出した社会保険費削減方針により地域医療崩壊が進みましたが、政権交代後も現状は改善されていません。中央社会保険医療協議会委員として審議に積極的に関わり、2010年度診療報酬改定で0.19%のプラス改定、救急や産科、小児科、外科への重点的な配分、コメディカルの評価など多大な成果を得られました。一方でプラスが小幅であるなど課題も多いようです。最後に赤穂市民病院での寄附の増加やサポートとしての地域住民活動について話され、「よい医療を効率的に地域住民と共に」という言葉で締めくくられました。

総会・学術講演会終了後、場所を移して写真撮影・懇談会が開かれました。懇談会は終始和やかな雰囲気、先生方はわれわれ学生にもやさしく声をかけてくださり、大先輩方の学生時代のことや、専門を決めたきっかけ、愛媛の医療の現状など、非常にためになる話を聞かせてくださいました。会が進行すると、若い先生方が一人ずつ挨拶をするというので順番にマイクがまわされ、われわれ学生も挨拶をさせていただきました。(文責：5回生 畑 玲央)

## 在宅看護テーマに



滋賀支部

## 【滋賀】

平成22年10月23日

(土)、ホテル・ボストンプラザ草津にて、世話役の木之下先生の進行のもと滋賀支部総会が行われました。まず現支部長である折田先生の挨拶から始まり、京大病院に新しくできる積貞棟の「積貞」という言葉は辞書にも載っていないのでいったいどういう意味かわからないとおっしゃっておられました。他にも、芝蘭会は年に一度遙か母校に思いをはせるいい機会なので若い人もみな来ましよう、ということや、今は制度の変革などで大学病院は人が集まらず深刻な人材不足なので、みな母校のために協力しよう、といったことを仰っておられました。そして、

## 【近畿北】

平成22年12月4日(土)

公立豊岡病院組合立豊岡病院研修講堂にて芝蘭会近畿北支部総会が開催されました。本会は、芝蘭会会員のみなさん、芝蘭会一般の方にも開放された会となりました。初めに、京都大学大学院医学研究科整形外科学助教授の吉富啓之先生座長のもと、京都大学大

## 脳外科治療めぐり講演

学院医学研究科整形外科学院内講師の伊藤宣先生が「骨治療におけるケモカインの役割―間葉系幹細胞の遊走―」という演題で講演をされました。内容は関節リウマチをめぐる現状と関節リウマチにおける骨関節の問題点を中心としたもので、そこからさらに骨治療のメカニズムと現在行われている骨治療を促進させる

## 睡眠時無呼吸に警鐘

平成22年11月6日

(土)、松江東急インにて芝蘭会島根支部総会が開催されました。当番幹事の秦公平先生の司会のもと会は進められ、支部長の中川正久先生の代役として急遽出席された小林真佐夫先生の挨拶がありました。小林先生は80歳を超えてなお現役で活躍しておられるようで、そのほかにも80歳を超える方が2名おられました。これは、島根の医師不足というものがそれほど切実だということを物語



島根支部

本日の三大死因である脳卒中を取り上げて実際の手術の様子を見せていただきながら、脳外科における治療の昔と今、困難な部分などを話してください。要になるそうです。次に、公立豊岡病院組合立豊岡病院脳神経外科医長の木村英仁先生座長のもと、京都大学大学院医学研究科脳神経外科教授の宮本享先生が「脳神経外科の現状と未来」という演題で講演をされました。日

では、新しくできた積貞棟は渡り廊下がなく、地下道を通るしかないの、なかなか大変なこともあるようです。しかし、そのおかげで築40年ほどの南西病棟は役目を終えて補修工事に入ることができそうです。ただ、同じく古い南病棟は予算が下りないこともあってまだまだ現役で使われるそうです。最後に坂井先生の専門に關係する話として、今は内視鏡をロボットを遠隔操作することで手術することができるようですが、京大もそろそろ導入予定という話をされました。それだけでなく、ちゃんと練習の施設の建設も予定してあるそうです。

かりで志の高い医学生が減ってきているのではないかと、などという質問とより、京大へのメッセージやエールのようでした。次に記念講演として、龍谷大学社会学部臨床福祉学教授である村井龍治先生に在宅介護に関してご講演いただきました。団塊の世代が高齢者になり、価値が多様化しさまざまなサービスが求められるなか、サービスがばらばらに提供されるのではなく、包括的に提供されるべきであり、そのためには自助、互助、共助の役割分担の確立や医療、介護、福祉の連携が重要という話をされました。入院中のケアマネに、先生方一人ひとりが母校の現状を真剣に考えている姿勢が伝わってきました。そのようにして、終始和気あいあいとした雰囲気で行われ、惜しまれながらも閉会となりました。(文責：3回生 宗宮伸弥)

つており、打開策を模索していかねばならぬという話もありました。さて、会は会計報告協議事項の順に進み、京都大学医学研究科呼吸管理睡眠制御学講座教授である、陳和夫先生のご講演へと移りました。演目は「睡眠時無呼吸の現状と今後の展望」です。最近の集まった先生方が一人ずつ挨拶をするということに順番にマイクがまわされ、我々学生も挨拶をさせていただきました。そして、折田先生の話や、坂井先生への質問にもあったように、先生方一人ひとりが母校の現状を真剣に考えている姿勢が伝わってきました。そのようにして、終始和気あいあいとした雰囲気で行われ、惜しまれながらも閉会となりました。(文責：1回生 森山太陽)



東京オフィス利用案内

- 開館日・利用時間  
月曜日から土曜日までの毎日 10:00 ~ 20:00
- 休館日  
日曜、祝日、年末年始（12月28日～1月3日）、創立記念日（6月18日）、その他臨時休館する日
- 詳細  
URL <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/tokyo-office>
- 所在地  
京都大学東京オフィス：  
〒108-6027  
東京都港区港南 2-15-1 品川インターシティ A 棟 27 階
- お問合せ先  
TEL 03-5479-2220（開館日の 10:00 ~ 19:30）  
FAX 03-5479-2221  
E-mail [t-office@www.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:t-office@www.adm.kyoto-u.ac.jp)



京都大学東京オフィス ラウンジ

京都大学東京オフィス  
卒業生交流の場に

「京都大学東京オフィス」は、京都大学の東京 発信の拠点として、J R

東京オフィスのには、卒業生をはじめ、教職員、学生が無料で利用できるラウンジ、ミニラウンジ、パソコンを備えたワークスペース

品川駅から至近に位置する「品川インターシティ A 棟 27 階」に設置されています。品川は新幹線に直結し、また羽田空港の国際化ともあいまって、国内はもとより、世界とも繋がる拠点ともなっています。

品川から至近に位置する「品川インターシティ A 棟 27 階」に設置されています。品川は新幹線に直結し、また羽田空港の国際化ともあいまって、国内はもとより、世界とも繋がる拠点ともなっています。

1940 年代以前の「芝蘭会会報」

芝蘭会は 1906 年（明治 39 年）6 月 25 日に発足して以来、「芝蘭会会報」、「芝蘭会雑誌」、「芝蘭」を会員相互の親睦のために発行してきました。1940 年代以前発行の「芝蘭会会報」などで卒業生の方々の手元に残っている会報などがございましたら、ぜひご寄贈くださるようお願いいたします。

「芝蘭会事務局」で大切に保管いたします。

問い合わせ先  
〒606-8302  
京都市左京区吉田牛の宮町 11-1 芝蘭会館別館内  
（社）芝蘭会事務局  
☎075-751-2713

寄贈お願い、事務局で保管

芝蘭会費納入は  
自動振替で

平成 17 年度より芝蘭会費の納入方法として、「銀行口座等からの自動引落し」を採用させていただいております。会費納入のお手間が大幅に省かれ、また、会費の二重払いの防止にも繋がります。ぜひ、ご利用いただきたくお願い申し上げます。

手続き等については、  
**芝蘭会事務局**  
(TEL 075- 751- 2713)  
までお問い合わせください。

ご 注 意 ！

「京都大学医学部分野別名簿発刊のお知らせ」は  
芝蘭会と一切関係ありません。

芝蘭会員に対して、学芸出版（株）から「京都大学医学部分野別名簿発刊のお知らせ」（往復はがき）が送られてきているという情報があります。芝蘭会は、本件には一切関係ありません。はがきを返信したり名簿代金を振り込まぬようご注意ください。



卒業生の皆さまには、同窓生との交流や母校と

があり、また、同窓会、各種セミナー、フォーラム、研究会などに利用できる会議室を 3 室（有料）ご用意しております。東京オフィスの皆さまの来館を心よりお待ちしております。

人 事 異 動

| 発令年月日     | 氏 名   | 異動内容                                |
|-----------|-------|-------------------------------------|
| H22.8.31  | 大久保康則 | 退職 感覚運動系外科学口腔外科学講師より開業へ             |
| H22.9.1   | 園部 純也 | 昇任 病院助教より感覚運動系外科学口腔外科学講師へ           |
| H22.9.30  | 石川 隆之 | 退職 内科学血液・腫瘍内科学講師より神戸市立医療センター中央市民病院へ |
| H22.10.1  | 門脇 則光 | 昇任 内科学血液・腫瘍内科学講師より同准教授へ             |
| H22.10.1  | 内藤 素子 | 昇任 病院助教より感覚運動系外科学形成外科学講師へ           |
| H22.10.31 | 福永理己郎 | 退職 分子生体統御学医化学准教授より大阪薬科大学教授へ         |
| H22.11.1  | 川端 浩  | 昇任 病院助教より内科学血液・腫瘍内科学講師へ             |
| H22.11.1  | 長嶋 一昭 | 昇任 病院助教より内科学糖尿病・栄養内科学講師へ            |

| 発令年月日     | 氏 名   | 異動内容                                     |
|-----------|-------|------------------------------------------|
| H22.11.30 | 青木 正博 | 退職 生体制御医学遺伝薬理学准教授より愛知県がんセンター研究所分子病態学部部長へ |
| H22.11.30 | 三國 信啓 | 退職 脳病態生理学脳神経外科学准教授より札幌医科大学脳神経外科教授へ       |
| H22.12.1  | 濱崎 洋子 | 昇任 感染・免疫学免疫細胞生物学助教より同准教授へ                |
| H22.12.1  | 北山 仁志 | 採用 特定研究員（グローバル COE）より分子生体統御学分子腫瘍学准教授へ    |
| H22.12.1  | 阪井 宏彰 | 昇任 病院助教より器官外科学呼吸器外科学講師へ                  |
| H22.12.16 | 山下 浩平 | 昇任 病院助教より内科学血液・腫瘍内科学講師へ                  |
| H23.1.1   | 園下 将大 | 昇任 助教より生体統御医学遺伝薬理学講師へ                    |
| H23.1.1   | 伊藤 宣  | 昇任 病院助教より感覚運動系外科学整形外科科学講師へ               |

会 員 訃 報

（敬称略）

謹んでご冥福をお祈りいたします。

|                      |                   |     |
|----------------------|-------------------|-----|
| 永井 亮二（昭和 9 年卒）       | 平成 22 年 8 月 24 日  | ご逝去 |
| 井上 章（昭和 13 年卒）       | 平成 19 年 1 月 2 日   | ご逝去 |
| 志賀 久雄（昭和 15 年卒）      |                   | ご逝去 |
| 森 英男（昭和 16 年 3 月卒）   | 平成 22 年 10 月 22 日 | ご逝去 |
| 千葉 良胤（昭和 16 年 12 月卒） | 平成 21 年 10 月 22 日 | ご逝去 |
| 山崎 進（昭和 18 年卒）       | 平成 22 年 9 月 2 日   | ご逝去 |
| 菅原 努（昭和 19 年卒）       | 平成 22 年 10 月 1 日  | ご逝去 |
| 澤野 祐三（昭和 19 年卒）      | 平成 21 年 12 月 28 日 | ご逝去 |
| 池内 彰（昭和 22 年卒）       | 平成 22 年 11 月 30 日 | ご逝去 |
| 佐藤 堯（昭和 22 年卒）       | 平成 17 年 12 月      | ご逝去 |
| 佐野 敏（昭和 22 年卒）       | 平成 22 年 5 月 31 日  | ご逝去 |
| 松村 嘉男（昭和 22 年卒）      | 平成 22 年 9 月 13 日  | ご逝去 |
| 安藤 真名（昭和 23 年卒）      | 平成 22 年 7 月 12 日  | ご逝去 |
| 後藤 保郎（昭和 23 年卒）      | 平成 20 年 11 月 1 日  | ご逝去 |

|                 |                   |     |
|-----------------|-------------------|-----|
| 西村 輝久（昭和 23 年卒） | 平成 22 年 10 月 27 日 | ご逝去 |
| 佐々木喜男（昭和 23 年卒） | 平成 22 年 6 月 25 日  | ご逝去 |
| 高田 稔（昭和 24 年卒）  | 平成 22 年 9 月 21 日  | ご逝去 |
| 木村 一雄（昭和 25 年卒） | 平成 21 年 11 月 14 日 | ご逝去 |
| 中村 秀雄（昭和 25 年卒） | 平成 22 年 9 月 3 日   | ご逝去 |
| 伊藤 昭二（昭和 26 年卒） | 平成 22 年 1 月 2 日   | ご逝去 |
| 神戸 達二（昭和 26 年卒） | 平成 22 年 2 月 22 日  | ご逝去 |
| 但馬 浩（昭和 26 年卒）  | 平成 22 年 10 月 16 日 | ご逝去 |
| 名波 登雄（昭和 26 年卒） | 平成 22 年 9 月 18 日  | ご逝去 |
| 久保田信孝（昭和 26 年卒） | 平成 22 年 8 月 1 日   | ご逝去 |
| 大谷 藤郎（昭和 27 年卒） | 平成 22 年 12 月 7 日  | ご逝去 |
| 松下 隆一（昭和 27 年卒） | 平成 15 年 6 月 25 日  | ご逝去 |
| 平川 千里（昭和 29 年卒） | 平成 22 年 11 月 8 日  | ご逝去 |
| 安立 良治（昭和 30 年卒） | 平成 22 年 3 月 29 日  | ご逝去 |

|                  |                   |     |
|------------------|-------------------|-----|
| 岡田 芳彦（昭和 30 年卒）  | 平成 22 年 9 月 23 日  | ご逝去 |
| 龍田 憲和（昭和 30 年卒）  | 平成 22 年 9 月 06 日  | ご逝去 |
| 奥田 正（昭和 31 年卒）   | 平成 21 年 2 月 13 日  | ご逝去 |
| 清水 俊丸（昭和 32 年卒）  | 平成 21 年 11 月      | ご逝去 |
| 熊野 明夫（昭和 33 年卒）  | 平成 22 年 5 月 8 日   | ご逝去 |
| 江崎研一郎（昭和 34 年卒）  | 平成 22 年 5 月 27 日  | ご逝去 |
| 小沢 勲（昭和 38 年卒）   | 平成 20 年 11 月 19 日 | ご逝去 |
| 岩山 馨（昭和 39 年卒）   | 平成 22 年 1 月 6 日   | ご逝去 |
| 静田 裕（昭和 39 年卒）   | 平成 22 年 1 月       | ご逝去 |
| 井上 誠（昭和 54 年卒）   | 平成 19 年 8 月       | ご逝去 |
| 石山愛三郎（昭和 61 年卒）  | 平成 21 年 9 月 7 日   | ご逝去 |
| 佐是 輝安（平成 13 年卒）  | 平成 20 年 3 月       | ご逝去 |
| 緒方 哲郎（教室会員 口腔外科） | 平成 22 年 11 月 27 日 | ご逝去 |

原 稿 募 集

芝蘭会報は、会員の皆様の情報交換・意見発表の場です。支部活動、クラス会、会員の著書の紹介（自薦・他薦）及び医学・医療等に関するご意見を寄稿ください。なお、原稿の採用及び掲載時期については、編集委員会が決めさせていただきます。芝蘭会報 編集委員会

●事務局から●

平成 17 年 4 月からの「個人情報保護法」の全面施行により、個人情報の取扱いに厳しい制約が課せられました。つきましては会員の連絡先等のお問い合わせは、必要理由等を明記の上、郵便または FAX により事務局までご送付ください。電話でのお問い合わせにはお答え致しかねますのでご了承ください。（FAX 075-752-4015）

芝蘭会事務局  
事務局長 山田 均  
総務課長 秋山 和美  
管理課長 松本 惇

将史（1 回生）

真辺諒、森山太陽、鶴田

井谷駿史（以上 3 回生）

前田峻宏、宗宮伸弥、柳

山田直生、畑野翔太郎、

橋本健太郎、中村有輝、

島將夫（以上 4 回生）

合田直樹、福田宗寛、勝

玲央（以上 5 回生）

水野裕基、福永有伸、畑

植木一仁、武井玲生仁、

純（以上 6 回生）

部 員 尾市雄輝、亀井

顧問 中尾一和

芝蘭会雑誌部

介、園部 誠、阿部 恵

委員 斎藤信雄、岩田

委員 中尾一和

芝蘭会報編集委員会